

## 《岡山県福祉士会アーカイブス》

### (1) 2011 年度 岡山県社会福祉士会事業報告

#### <事務局>

事務局の機能を高めることを念頭に専従職員を配置し、会の窓口業務の強化に努めた。これにより平日開局が可能となった。また、2011年6月より第二期理事会が構成されるにあたり、理事職業業務の円滑な執行を可能とするよう諸書式等の整備に努めた。しかし、過去の資産との関連性の整理に手間取り、十分に果たすことはできなかった。このことは今後の課題として残った。また、会員サービスの向上に努めることを念頭に会員 ml の活性化に努めたが、すべての会員が登録するに至らず、これも今後の課題となる。

会員より諸規定の整備状況に対する指摘について、整備・公開までの準備に取り組んだが、現在状況との整合性の確認、および本務を始めとする諸会務への従事によって、作業時間の確保に手間取り、これについても課題として残っている。

#### <相談事業委員会>

##### ①主な取り組み

- ・事例検討会の開催、相談員派遣

##### ②委員会活動における課題点

- ・今後の委員会活動のあり方（内部の事例検討会であれば研修委員会と統合案あり）
- ・事務局に入ってくる相談への対応システムの構築（現委員会で対応可能か協議）

#### <広報委員会>

##### ①主な取り組み

毎月の会報の作成・発行を行った。

##### ②委員会活動における課題点

月初めの発行を目指しての活動ではあったが、原稿の遅れなどにより、毎月統一した日にちに発行する事が出来なかった点が課題として挙げられる。

#### <生涯研修センター>

本委員会は、各委員会が主催する研修活動を統括する機関として本年度より本格的に活動を開始した。本委員会は、研修活動を通じて会員の社会福祉士としての質向上に寄与することを目的としている。2011年度は、旧生涯研修制度最後の年度となる事から、1人でも多くの会員が基礎研修を受講できるよう努めるとともに、現生涯研修制度へのスムーズな移行が可能となるよう事業を展開した。

<ばあとなあ岡山>

①主な取り組み

成年後見制度を必要とする人たちの要請に可能な限り応えられるように対応した。

②改善を心がけた点

新たに受任者拡大の取り組み

受任者同士が支え合うための顔の見える関係づくりにためのブロック化の取り組み

③その結果なにが変化したか。

受任者・受任件数ともに増大しているため、事務局・運営委員の負担が大きくなりつつある。

④課題

新たな受任者拡大に取り組んではいるが、社会的な要請には追いつけていない。

受任者の増大による現任研修の充実が求められている。

<実習指導者養成研修委員会>

本委員会は、実習指導者の力量向上の支援および実習指導者と養成校教員との情報交換の促進を目的としているが、2011年度は日本社会福祉士会実習指導者講習会（岡山会場）の開催、実習指導者スキルアップ研修の開催しか行えず、養成校との橋渡しの役割を充分果たすことができなかった。

<調査研究委員会>

① 主な取り組み：岡山県社会福祉士会研究機関誌の発刊

② 改善を心がけた点：調査研究論文の充実化

③ その結果なにが変化したか：研究論文が例年より増加する結果となった。

④ 課題として残ったか：編集作業の迅速化が課題として残る。

<地域包括ケアシステム委員会>

①主な取り組み

地域ケアシステムの構築に関わる社会福祉士相互の交流、情報交換、スキルアップ

②改善を心がけた点

できるだけ、他団体などと連携を取り、広がりを持てるように活動を行う。また、名簿を作成し、包括支援センター職員相互の交流、委員会活動への参加促進を図る。

③その結果なにが変化したか。

地域包括・在介協等と共催で研修を行うことができた。また、社会福祉協議会等、地域包括以外の機関の方の委員会、研修参加があった。

④課題として残ったか。

さらに連携を広め、深めていくこと

#### ⑤発生した問題点

研修などの参加者がまだまだ少なく、研修内容などの検討が必要。異動などにより、委員会に関わるメンバーが少なくなり、委員会の広がり、推進していくメンバーが不足している。

#### <子ども家庭福祉委員会>

- ①主な取り組み：委員会・市民セミナー開催・ふぁみりーパートナーの名刺作り。
- ②改善を心がけた点：市民セミナー二年目ということもあり、多団体への広報に力点をおいた。また、支援者の視点のみならず、当事者の視点からの内容とした。
- ③その結果なにが変化したか：市民セミナーには地域の民生委員等が参加されたため、子どもを取り巻く環境について改めて考えることができた。
- ④課題：今までよろず相談を設けたが、既存の団体が行っている子育て相談等があり重複するため、専門家に特化した取り組みが必要である。(ネットワーク作り・広報の仕方)

#### <独立型社会福祉士ネットワーク委員会>

きらめきプラザを会場とし、奇数月の第3木曜日、13時30分～15時30分を開催時間とし、5回の委員会を開催した。出席者で、ほぼ毎回参加は5人程度。討議内容は、総会報告や研修制度の変更等司会の側から提起した事項もあったが、大半は当日出席者の意向に沿ったもので、出席者の問題意識が討議に反映された。本委員会の意義は確認されたが、今後どのような運営、内容としていくかについて定まったものはなく、今後の討議を通じて、具体化していく。

#### <組織強化委員会>

月1回の例会を開催し、岡山県社会福祉士会の会員を増やすための取り組みを理事会等と連携しながら行った。具体的には、各委員会と連携しながら組織強化委員会として準会員制度及び青年部の組織化について取り組んだ。

- ①主な取り組み：各委員会を紹介するパンフレット及び準会員制度・青年部のパンフレットの作成し、福祉関係大学・福祉養成専門学校等へ配布。
- ②改善を心がけた点：準会員制度は、定款には、規定していたが、具体的な改善が図れていなかったもので、理事会の承認を得て改善した。あわせて青年部を創設し、その準備を進めた。
- ③その結果なにが変化したか：準会員（学生会員）等から入会希望の問い合わせが増えてきている。
- ④課題として残ったか：準会員制度・青年部を組織化して今後、具体的にどのように運営をしていけばいいのか。組織強化委員会だけでは、テーマが大きくて対応しきれない。

⑤発生した問題点：会員名簿の作成を進めているが、まだできていない。

#### <国家試験対策委員会>

国家試験対策講座を2011年12月24日（土）25日（日）の2日間、実施した。

① 主な取り組み

90分講座×6、45分講座×4、合計10講座を行った。

② 改善を心がけた点

活動休止だったが、数年ぶりに実施することができた。

③ 課題として何が残ったか。

19科目全部は開講できなかつたので、講座数を増やす。

#### <公益事業委員会>

昨年3月に東日本大震災の発生により、関連の事業を行った。また、高齢者虐待対応研修については、地域包括支援センター職員が多数のため、来年は地域包括システム委員会に所管を移動し、次年度はフォローを行う立場とした。また、途切れていたホームレス支援についての取り組みとして研修会を開催した。

#### <第三者評価委員会>

本委員会は、福祉サービス第三者評価事業評価機関として県内福祉施設等の第三者評価を行うことを通じて、福祉サービスの質の向上を促進し、もって利用者の権利擁護、県民福祉の向上を図ることを目的としている。2011年度は、評価機関認証をうけた初年度であり、評価受審施設の開拓に向けたPRに重点を置いて取り組んだ。また、評価受審予定施設（ももぞの学園）との協議・調整・準備を進めた。

#### <美作ブロック連絡会>

①主な取り組み

- ・定例会の開催
- ・研修会の開催

## (2) 2012 年度 岡山県社会福祉士会事業計画

### 1. 2012 年度事業活動方針

一般社団法人化以降の本会は、求められる社会的責務を果たすために、関係機関、団体との連携強固を図りつつ、福祉課題への対応、会員の資質向上を目的とした各種研修会の開催、また、福祉関連職のスキル向上に資するための訪問指導などに取り組んできた。

2012 年度は、これまでの活動をさらに向上発展するとともに、「質の確保」と「機会の拡大」をキーワードに、会員のソーシャルワークスキル向上、会員相互の交流の場の提供、および、本会の組織的發展をめざして、以下の活動に取り組む。

- (1) 「委員会機能の確認とスリム化」：各委員会の事業内容を点検し、委員会間で重複、あるいは不足している事業などについての確認を行い、委員会の再編も念頭に入れ、効率化とスリム化を検討する。
- (2) 「青年部（会）の結成」：全国大会における活動を当面の目標としつつ、人材の発掘と会の活性化を計るために、常設的な部会へと発展的に組織化することを検討する。
- (3) 「公開セミナーの充実」：複数開催とするなど、より効果的な実施体制について検討する。
- (4) 「会員間ネットワークの構築と強化」：会員名簿の発行、会員 ML への登録推進、研修会を通してのつながり形成などを促進する。
- (5) 「研究調査の強化」：政策提言、本会独自の研究調査のあり方について検討する。
- (6) 「全国大会の成功」：来年度事業の中心として成功に向けての取り組みを通して、会への帰属感を強化する。
- (7) 「事務局機能の強化」：会務が円滑に機能するための方策について、継続的に検討する。
- (8) 「ブロック制度導入についての検討」：、ブロック制度を実質的に機能させることよって、地域の特性を活かした会員ネットワークの構築を計る。

### 2. 事務局

- (1) 総会・理事会の開催、運営
- (2) 本会事業全体に係る予算の執行管理
- (3) 窓口業務の遂行
- (4) 文書・資料・備品等の整理・管理・調達および担当者等との調整
- (5) 規程・業務マニュアルの整備、公表
- (6) 就業管理に関する事項の整備、充実
- (7) 労働環境の整備、充実
- (8) 事務所の管理、保全
- (9) 慶弔等への対応
- (10) ホームページ・メーリングリスト等の管理
- (11) その他事務局運営・体制強化に関する事項

### 3. 相談事業委員会

- (1) 委員会兼定例事例検討会の開催（年 5 回）
- (2) 相談支援研修会の企画、実施（年 1 回）
- (3) 各種相談会等への相談員の派遣

### 4. 広報委員会

- (1) 広報誌の発行（毎月 1 回）

- (2) 会員 ml の管理
- (3) ホームページの管理
- (4) 広告の獲得
- (5) 会員外に向けたチラシの作成

#### 5. 生涯研修センター

- (1) 生涯研修センター会議の開催（年 6 回程度）
- (2) 全国生涯研修委員会議への参加
- (3) 基礎研修会 II リーダー養成研修への参加
- (4) 基礎研修会 I の開催
- (5) 共通専門研修会の開催（他委員会との共催／年 3 回程度）
- (6) 岡山県社会福祉士会調査研究報告会の開催
- (7) 定例研修会の開催（他の研修会が無い月／年 5 回程度）

#### 6. ばあとなあ岡山

- (1) ばあとなあ総会の開催（年 1 回）
- (2) ばあとなあ運営会議の開催（毎月第 2 金曜日 18:00～19:00）
- (3) ばあとなあ定例会の開催（毎月第 2 金曜日 19:00～21:00）
- (4) 後見事件受任者現任研修の開催（年 4 回）
- (5) 第 11 回成年後見活用講座の開催
- (6) ばあとなあ全国担当者会議への参加
- (7) ばあとなあ地区（中四国）連絡会への参加
- (8) 高齢者・障害者支援ネットワーク懇談会への参加
- (9) 高齢者・障害者なんでも相談会への参加及び相談員の派遣
- (10) 成年後見人養成研修受講者・受講修了者・受任者への助言指導
- (11) 高齢者虐待対応専門職チームに参加（アドバイザー派遣、アドバイザー会議への参加等）
- (12) 受任者活動チェック（9 月と 3 月の年 2 回）と受任者面談（年 1 回）
- (13) 他専門職との連携
- (14) 法人後見受任・後見人互助事業等の検討
- (15) 県内 3 地区（備前・備中・美作）でのブロック活動、さらに小グループでの顔の見える関係での勉強会等の開催
- (16) その他関連事業の開催

#### 7. 実習指導者養成研修委員会

- (1) 委員会の開催（2 回）
- (2) 連絡会議の開催（1 回）
- (3) 実習フォーラムの開催（1 回）
- (4) スキルアップ研修の開催（2 回）
- (5) 実習指導者講習会の開催（1 回）

#### 8. 調査研究委員会

- (1) 研究誌の発刊
- (2) 調査研究講座および研究会の開催,
- (3) 委員会（兼編集査読委員会）の開催（3 回）

9. 地域包括ケアシステム委員会

- (1) 委員会の開催（6回）
- (2) 実務者研修開催（1回）
- (3) 地域包括支援センター情報交換会（2回）
- (4) 高齢者虐待対応現任者標準研修会（1回）

10. 子ども家庭福祉委員会

- (1) 子どもを取り巻く環境へのアプローチ方法の習得。
- (2) 関係機関や諸団体とのネットワークの構築。
- ~~(3) SSW 実践のための理論や視点を学ぶ。~~
- (4) 年4回のSSW研究会開催(5月、7月、11月、1月)
- (5) SSW復命研修（4月）
- (6) 外部講師によるSSW研修（8月）
- (7) 子育て支援ネットワークづくり
- (8) 委員会開催（研究会と同時開催）

11. 独立型社会福祉士委員会

- (1) 委員会の開催（奇数月開催）
- (2) 会員向け独立型社会福祉士啓発研修会の開催（情報提供、相談）

12. 組織強化委員会

- (1) 委員会のメンバーの増強
- (2) 定例会の開催（毎月1回土曜日に開催）
  
- (3) 会員増加を図るため、各種委員会開催の研修会、および関係機関団体の開催する行事での啓発チラシの配布
- (4) 親睦会・忘年会の開催。

13. 国家試験対策委員会

- (1) 委員会メンバーの増強
- (2) 開講科目、開講日数の拡大
- (3) 受講者定員の拡大
- (4) 委員会の開催（3回）
- (5) 受験対策講座開講案内の広報活動推進
- (6) 受験対策講座の開催（11月、12月）

14. 公益事業開発委員会

- (1) 全国大会での募金活動
- (2) 「会議が変わる！会議ファシリテーション講座」の開催
- (3) 「人を惹きつける！話し方講座」の開催
- (4) 高齢者虐待標準研修（地域包括システム委員会と共催）の開催
- (5) 災害支援について考える市民向けセミナーの開催
- (6) ホームレス支援について社会福祉士会としての支援の在り方を検討

(7) その他新たなニーズについての活動

15. 第三者評価委員会

- (1) 委員会の開催（2回）
- (2) 評価実施（2ヶ所）
- (3) 評価機関連絡会議（県招集）への参加（2回程度）
- (4) 第三者評価事業説明会の開催（1回）
- (5) PRパンフレットの作成（1000部）
- (6) 評価調査者継続研修（県主催）への委員派遣

16. 県北ブロック連絡会

- (1) 定例会の実施（毎月第2火曜日）
- (2) 研修会の実施（6月、2月）

17. 全国大会実行委員会

- (1) 全国大会実行委員会の機能的運営
- (2) 当日スタッフ確保のための広報活動の推進
- (3) 大会参加者の確保のための啓発活動の推進
- (4) 関係機関との連絡調整
- (5) 大会への広告・協賛金の募集